



# 7月のえんだより

～笑顔あふれる  
育ちのひろば～  
令和8(2026)年7月6日  
社会福祉法人 見真会  
明光保育園

梅雨明けが待たれる頃となりましたが、今年も暑い暑い夏が待ち構えているようです。

子どもたちは、一人ひとり、4月の入園、進級から3か月を過ぎ、新しい環境や生活に慣れ、保護者の方々の深い愛情に包まれながら、個性豊かに笑顔いっぱい大きく育っています。

子どもたちが土づくりをし、育ててきたカサブランカ(ゆり)は大きな花を咲かせ、トマトやキュウリは収穫の時期を迎えて、スイカも2つの実を大きくさせてきています。登園や降園のときには、子どもたちが育てた花や野菜を親子で一緒に観察してください。



当園では、「笑顔あふれる育ちのひろば」を保育理念に掲げ、子どもたちの思いや声に寄り添い、特別ではない、日々の保育を大切に、いつも子どもを真ん中に置き、子どもを主体とした保育を実践しています。

また、子どもたちの「最善の利益」のため、子ども一人一人の人権を大切に、健康管理、感染防止、衛生管理、事故防止、不適切保育ゼロ、児童虐待防止、防災対策、職員育成の徹底を図り、安心、安全で豊かな保育環境の下での保育サービスの提供に努めていきます。

さらに、今後の認定こども園への移行検討に向けた教育の充実策として、主に幼児期からの養護と教育を一体的に行うため、10の学習支援体制(①知識能力(知育)、②創作・造形、③言語表現、④語学(異文化交流)、⑤運動機能、⑥音楽表現、⑦食育、⑧健康、⑨園芸・栽培、⑩安全教育)を取入れ、就学に備えて、一人ひとりの特性や能力を伸ばし、子どもの健やかな成長と活動が豊かに展開され、将来にわたって「生きる力」の基礎が育まれるよう支援を進めています。

加えて、保護者の方の利用負担を軽減していく試みとして、乳児のエプロンやおしりふき、タオル、ビニール袋、箱ティッシュ、雑巾などを園が負担して用意したり、臨時利用の延長保育料に限度額を設けるなど、できることから取り組んでいます。

笑顔あふれる育ちの中で、子どもたちが自ら考え、主体的に学び、行動できる保育!「やりたい」「できる」「できた」を子どもたちの喜びと自信につなげる保育!子どもたちの成長を保護者の方や地域の方々と協働し、ともに喜び合える保育!を進めていきますので、ご理解とご協力、ご意見をいただきますようお願いいたします。



トピックス:屋上運動場に遮光ネットを設けました。

桜のお花見  
白組、青組のみんな  
が屋上で給食の手  
作りお弁当を食べ  
ながら満開の桜の  
花見をしました!



白組ぞら豆収穫!  
フランターで育て  
たぞら豆を収穫し、  
塩ゆでにして  
食べました!



## ★7月の誕生日会・七夕のつどい★

7月7日(火)には7月の誕生日会・七夕(たなばた)のつどいを開きます。

子どもたちは、短冊に「大きくなりたい」「サッカーが上手になりたい」など思い思いの願いを書いて、笹に飾り付けました。

七夕のつどいでは、職員が織り姫や、ひこ星になって、宇宙の不思議や七夕の由来などを演じます。



## 新1年生、入学おめでとう!!

4月9日(木)に新1年生なったばかりの卒園児たちがピカピカのランドセルを背おって保育園を訪れました♪  
小学校の制服を着た子どもたちは生き生きと、とても誇らしげでした。職員一同は、ずっと見守っていきます。



## 交通安全のお願い

明光保育園の前の県道は、狭くて、自動車の交通量が多く、とても危険です。

- ① 歩行者は、道の右側を歩くことが原則です。子どもの交通事故や転倒、迷子などの危険を防ぐためには、子どもだけで歩かせないでください!
  - ② 道路を歩く時には、必ず子どもと手をつないでください!
  - ③ 自動車が通行する部分からはできるだけ離れ、子どもは道路の反対側を歩かせてください!
  - ④ ガードレールや白線からはみださないように歩いてください!
  - ⑤ 道路や駐車場では遊ばせないでください!
- ※5月22日(金)に一貫田公園で警察などによる交通安全教室に参加し、交通ルールを学びました!



## むし歯予防デーについて

毎年6月4日から10日までは、歯の衛生週間です。

- 1 乳歯は3歳までに20本そろいます。
- 2 3歳頃から子ども自身で歯みがきを始めましょう。細かいところは、十分にみがけないため、保護者による仕上げが必要です。
- 3 6歳前後になると乳歯が抜けて永久歯が生えてきます。

⇒ 寝ている間は唾液が減って、むし歯になりやすいため、寝る前の歯みがきが特に大切です。

※現在、白組、青組では、給食を食べた後に各自で歯みがきをしています。  
※園では年2回歯科健診を行っています。



日	月	火	水	木	金	土
7月5日 休日保育	6	7 誕生日会 七夕のつどい 小暑	8 体操のひろば (白・桃組)	9 避難訓練 (火災)	10 人形劇鑑賞 (白・青・黄)	11
12 休日保育	13	14 体操のひろば (青・黄組)	15	16 避難訓練 (不審者)	17	18
19 休日保育	海の日 休日保育	21 体操のひろば (白・桃組)	22	23 大暑	24 デイキャンプ (白組)	25
26 休日保育	27 身体測定週間	28 体操のひろば (青・黄組)	29	30 茶道のひろば (白組)	31	8月1日
2 休日保育	3	4 体操のひろば (白・桃組) 調整会議	5	6 平和のつどい (白・青・黄組) 幼児会議	7 立秋 乳児会議	8

園だより担当  
園長代理:原田 主任:石崎

電話(082)824-7801 (URL) <https://kenshin-meikou.jp>  
FAX (082)824-8030 メールアドレス info@kenshin-meikou.jp

## クラスの目標と活動

【ひよこ組 0歳児 6人】担任:藤永 副担任:森戸

### ～笑顔あふれ、元気に育つ～

愛情いっぱい受け止め、五感を磨き、全身を使って思いを表現できる子どもを目指して、子どもたち一人ひとりに愛情を注ぎ、その思いや欲求を受け止め、思いに応じ、欲求を満たすことで、子どもたちとの愛着関係を育んでいきます。

また、安全で清潔、心地よい生活環境の中で、健康な体が育ち、自ら感じ、考え、表現できる豊かな感性を育んでいきます。

今、子どもたちは、一人ひとりに合った心地良い生活リズムの中で、安心して、ゆったりと過ごしています。

見る・聞く・触れるなどの様々な経験をとおして、身の回りのものに興味を持ち、自分から手を伸ばしたり、体を動かしたりしながら探索を楽しんでいます。

また、職員との触れ合いをとおして、笑顔やしぐさ、喃語(なんご)で自分の思いを伝えることができるようになり、日々、可愛さが増し、個性が育まれています。

屋外遊びや感覚遊びを取り入れ、五感を使って個性豊かに元気で伸び伸びと過ごしていけるように支援をしています。



【黄組 3歳児 19人】担任:奥崎 副担任:高尾

### ～したい やりたい やってみる～

自分らしさを発揮し、主体的に興味・関心を深め、活動できる子どもを目指し、子どもたち一人ひとりの思いや考えを大切に受け止め、子どもたちのペースに合わせて、ゆっくりと聞いたり、待ったりしながら、安心できる環境の中で、個性豊かな自我の育ちを支えています。

また、生活や遊び、当番活動など、子ども自身で考えたり、試行錯誤しながら「やってみよう」気持ちを育み「できた」喜び体験を重ねながら、自信を深め、主体性が育まれるよう支援しています。

日々の活動の中から自分で「やってみよう」「できた」を重ねながら、園児同士のふれあいや相手への思いにも気付くようになってきています。

これからは、遊びや行事をとおして、仲間との折り合いをつけながら、思いを広げ、仲間と一緒に活動する楽しさに気付き、互いの思いを大切にすることを育んでいきます。



【赤組 1歳児 12人】担任:金井 副担任:乃美

### ～自分の思い、いっぱい育む～

人や周りの物への興味や好奇心を育み、思い思いに行動できる子どもを目指して、子どもたち一人ひとりの豊かで多様な個性を認め、育むことで、健やかな体と心の成長を支援しています。

また、見る、聞く、触れるなど五感を使った探索活動をとおして、なんだろう?に共感し、職員は、「〇〇だね」「一緒にやってみよう」等と言葉がけをし、子どもの思いに誠実に応え、安全な環境の中で「やってみよう!」気持ちをサポートし、実現に結び付けています。

子どもたちは、自分の思いが受け止められる環境の中で職員や他児への興味や関心も増して、泣いたり、笑ったり、怒ったり等、言葉にならない思いを仕草や態度で伝えようとしています。

職員は、子どもたちが伝えようとしている思いを汲み取り、待ち、思いを大切にしながら、子ども一人ひとりを受け入れ、自分の思いを自分の方法で表現できるように支援をしています。



【青組 4歳児 19人】担任:松本 副担任:相原

### ～みんなつながり、思い広がる～

仲間の一人として生き生きと行動し、自分らしさを表現できる子どもを目指して、子ども自身が自分に自信を持ち、日々を楽しむことができるように、一人ひとりの子どもの思いや考えを尊重し、自分でやってみようとする意欲を大切に支援しています。

自分に自信が持てなくても、失敗しても職員や仲間が見守っているから頑張れるように、青組が温かいふれあいの場となることを目指しています。

子どもたちは、自分の思いを持ち、それを表現することで、自分の存在を理解し、周りの人も大切にしながら、生き生きと生活できるようになってきています。

年間をとおして、仲間との様々な体験の中で喜びや悲しみ、思いを共感し、互いに支え合いながら、心豊かに過ごすことができるよう毎日を大切に活動できる支援をしています。



【桃組 2歳児 17人】担任:今田 副担任:倉留

### ～明るく、伸び伸び、自分らしく～

身近なことに興味を持って様々な事に挑戦し、伸び伸びと元気に体を動かしながら、沢山の経験をとおして、自我と感性を育み、自分から自分らしく、自分の思いを表現できる子どもを目指しています。

子どもたち一人ひとりのありのままの姿を認め、欲求を受け止め、自我の芽生えに寄り添うことで、豊かな感性を育み、言葉や製作、行動をとおして、自身の思いや感性、欲求を表現できるように支援しています。

子どもたちは、「体操のひろば」では思いっきり体を使って、かけっこ、マット、一本橋などで個性を発揮しています。創作でも好きな色を使って、思っていること、感じたことを表現できるようになってきました。

また、朝の準備、トイレ、衣服の着脱など、身の回りのことは自分でしようと、毎日チャレンジしています。

沢山の経験をとおして、できた喜びを自信につなげ、仲間との関わりを大切にしながら、自分の思いや感じたことを自分なりの方法で表現できるように支援していきます。



【白組 5歳児 21人】担任:蒲生

### ～思いやり、助け合い、行動する～

仲間を思いやり、目標に向かい、挑戦・協力し、やり遂げられる子どもを目指して、子どもたち一人ひとりの個性を大切にしながら、成功体験と達成感を積み重ねることで、自信を持って、挑戦や活動ができる支援をしています。

また、グループ活動では、仲間と目標を共有し、主体的に考え、悩み、調べ、創意工夫、挑戦し、互いを認め、その達成を喜び合うことで、将来にわたる信頼関係が育まれるよう支援しています。

この活動をとおして、相手を思いやる気持ちや協力することの大切さを知り、仲間との絆が深まっています。

また、個人の主体性を大切に鯉のぼりの制作などでは、形を決めるところから、自分で創意工夫、試行錯誤して完成させることで、達成感から次への創作意欲が高まっています。

これから、デイキャンプや運動会、生活発表会などに向け、自分の意見を持ち、互いの意見を尊重し、協調して取り組んでいけるように話し合いの場を大切にしています。



## ☆専門性を活かしチームで保育を推進！

子どもたちの生涯にわたる生きる力の基礎を培うため、豊かな経験をとおして、知識や技能、思考力、判断力、表現力などが育まれるよう10の学習支援を行っています。

### 知識能力（知育）支援担当：原田園長代理 藤永 ひよこ組担任

子どもたちの知的好奇心や能力を引き出し、高めるよう映像や図鑑、知育玩具、園外活動などを活用して、小さな気付きや驚きを大切に自然現象や動植物、図形や数、文字や言葉など、一人ひとりの興味・関心が広がるよう支援をします。

子どもたちは、図鑑で調べたり、映像を観たり、顕微鏡で観察したり、知育玩具を夢中で楽しむ中で、面白い発見や不思議な体験を重ね「もっと知りたい！」「こうだったらできるかも！」と、知的好奇心が高まりました。

ワークブックなどを活用し、読む・書く・見る・聴くに触れ「できた！」ことを重ねて、自信を育み、新しいことへの探求や挑戦心をさらに伸ばす支援をしていきます。

### 音楽表現担当：松本 青組担任、相原 青組副担任

音楽の潜在能力が高まるよう、楽しく多くの音楽や楽器、音にふれ合いながら、リズムに合わせて体を動かしたり、声を出したり、歌ったり、楽器をならしたりと、誰もが感じたことを豊かに表現していくことを支援します。

CDや映像などを活用して、優れた音楽に触れる機会を増やしたり、リトミックを取り入れ、身体を動かしたり声を出すことで、自分なりに音楽を楽しみ表現していく体験を支援していきます。

また、子どもたちの歌ってみたい歌や仲間と合奏したり表現したい思いを積極的に取り入れることで、自ら音楽に興味を持ち楽しもうとする気持ちを育み、その中で一人ひとりが感じたことを個性豊かに表現することを大切に支援をしていきます。

### 食育支援担当：濱田、田川栄養士

食を営む力を育むため、季節や行事に応じた多様な給食を提供し、豊かで楽しい食の体験を重ねながら、食材や栄養、味覚、調理、健康などへの興味・関心を高めて、食への正しい知識と望ましい食習慣が身につくよう支援します。

クッキングでは、食材に親しみ、調理する楽しさや食べる喜びを感じ、また、野菜や果物の形・色・断面の観察を行って、新たな発見につなげていきます。

また、食べ物に含まれる栄養についても分かりやすく伝え、働きをすることで食への関心を深めていきます。

食に関する体験や学習を通じて、食べることの大切さや楽しさを感じ、自ら考えて食べる力を育む支援をしていきます。

### 創作・造形支援担当：石崎主任、金井 赤組担任

幼児組では、子どもたちの「どうやったらできるの」という疑問が「やってみよう」という好奇心に変わり、保育士にあれも、これも、「やってみよう」「作ってみよう」などの要望が多くなってきています。

乳児組では、保育士や他児と一緒に作る楽しさを知り、自由に思うまま、感じるまま表現することを楽しんでいます。

子どもたちの豊かな創造力や感性を育むため、園外活動で自然を感じたり、多くの作品を鑑賞したり、様々な素材と技法を取入れた創作や造形をとおして、創意工夫する創造力や探求心を育てていくことを目標としています。

素材では、紙やクレパス、色鉛筆、絵の具、のり、粘土などのに触れることで、子どもたちの興味・関心を引き出し、次は何をしようかと創作意欲を高める支援をします。

### 言語表現支援担当：奥崎 黄組担任 今田 桃組担任

表現豊かに自分の言葉で気持ちを相手に伝え、誰とも話し合いをとおして、協調、共感できるコミュニケーション能力を育むために、一対一での言葉かけ、絵本や紙芝居の読み聞かせをします。

また、子どもたちが、新しい言葉を知ったり、思考力が身に付くように「言葉あそび」や「エプロンシアター」を使い、音の響きを楽しみ、自分のイメージを言葉や身体で表現することを楽しんだり、様々な表現や交流を活用して、言葉や表現力が身に付いていくように支援をしていきます。

### 健康支援担当：平野看護師、森戸 ひよこ組副担任

自分の心と体のことを知り、健康的な生活習慣が身に付くように図鑑や紙芝居、絵本を使って、心や体の仕組みや成長、病気やけが、食事や睡眠、運動のことなどを伝えるとともに、毎日の健康観察と合わせて健康の維持と健やかな成長と発達を支援していきます。

繊細な子どもたちは、新しい環境変化に対応しきれず、心や体が敏感に反応してしまいがちです。

食事、睡眠、排泄などの生理的要求を十分に満たし、心地よい生活リズムを整え、子どもたちが安心できる場所を確保し、主体的な遊びの中で、心身のバランスを大切にします。

また、保護者の方と子どもたちの体調の変化や生活リズム、病気やけがを共有し、健康な心と体の基礎を育てていきます。

### 園芸・栽培支援担当：米田園長

植物の成長や開花、収穫の喜びを体感することで、自然を愛し、生命の不思議を知り、生命に親しみ、生命をいとおしむ心の育ちを支援します。

土づくりから始めて、種や球根、苗を植え、水やりをしながら、葉や花、実の変化に気づき、成長を見守り、花の美しさや収穫の楽しさを知り、「きれいだね」「大きくなったね」などたくさんの発見から自然に興味を持ち、空や雲、風、雨、雪、温かさ、寒さなどの天気や気候の変化を知り、野菜から食べ物にも興味を広げ、五感を使って感性が豊かに育まれるよう支援をしていきます。

### 運動機能支援担当：蒲生 白組担任 乃美 赤組副担任

健康な心と体の基礎を作るため、遊びの中に跳び箱、鉄棒、縄跳び、マット、ボールなどの運動を取り入れ、目標の達成に向かう気持ちを大切に、できた喜びを共有し、一人ひとりの挑戦する心と達成感が育まれるように様々な運動を取入れ、支援していきます。

体力向上を図るため、戸外で体をしっかりと動かし、走る・跳ぶ・投げる等の運動機能の基礎を育てていきます。

また、様々な運動器具に触れることで、運動遊びの楽しさを伝え、できる・できないに関わらず、運動を楽しんでいることができるよう、子どもたちの挑戦を応援し、認めることで、自信につなげ、挑戦心を育てていく支援をします。

### 語学（英語）・異文化交流支援担当：吉井 子育て支援員 乃美 赤組副担任

毎週金曜日にインドからのオンラインでインド人講師のパラスマンナさんから英語の物語を聞いたり、歌を歌ったり、運動したり、カードなどの教材を使用しながら、楽しく海外の言葉や日本と異なる風土や歴史・文化、生活習慣に親しんで国際感覚の基礎が育まれるよう支援しています。

また、子どもたちに英語がより身近な存在となるよう、英語が得意な職員による身近な言葉や表現、音に親しむ基礎的な補習との相乗効果によって、楽しく学んで英語や海外への興味や関心を育てています。



### 安全教育支援担当：高尾 黄組副担任、倉留 桃組副担任

子どもたちが身の回りの危険から自分自身を守ることができるように命の不思議や大切さを知り、様々な危険を理解、予測、察知し、回避できる能力（危険予知・回避能力）の習得を目指して、毎月2回、火災や風水害、地震、不審者などを想定した避難訓練を行っています。

交通安全では、毎年、警察主催の交通安全教室に参加し、道路の歩き方や信号機の見方、横断歩道や踏切の渡り方を実際に体験して学び、交通安全の知識と実践力を高めています。

また、危険に応じた正しい行動をテーマにした絵本や紙芝居を使い、日常生活において危険を回避し、見通しをもって安全な行動ができるよう支援し、将来にわたって安全な生活を送るための基盤を培います。

